

特定非営利活動法人フリースタイル市川  
**設立記念キックオフミーティング**  
～ひとつひとつの想いをつないで～

2020.10.24

9:30 open 10:00 start

place: 全日警ホール



フリースタイル市川

## タイムテーブル

### 「第1部 ～みんなに伝えたい想い～」

- 10:00 代表挨拶 代表 野口 淳
- 10:03 フリスタについて 副代表 國友 英治  
おいしくやくそく宣言についての報告 理事 鈴木 雄高
- 10:15 交流タイム
- 10:20 プロジェクト紹介  
・市川カイギ ー 野口 淳  
・まるやブルワリー（市川ビール） ー 釘抜 克典  
・gate. ー 稲村 絵美里
- 10:50 他のプロジェクト 30 秒 PR 大会
- 10:55 意見交換タイム
- 11:10 休憩（5 分間）

### 「第2部 ～みんなとやりたいこと～」

- 11:15 ゲストプレゼン 01 千葉商科大学人間社会学部 3 年 阿波野 翔亮さん
- 11:25 ゲストプレゼン 02 重田農園 重田裕介さん
- 11:35 連絡報告事項～フリスタのハンドサインで記念写真
- 11:40 終了

## フリスタのイカした奴ら（あいうえお順）



副代表理事

稲村 絵美里

可能性をひろげる ICT アドバイザー / 思いやりネイリスト

静岡県伊東市生まれ。大手生命保険ライフコンサルタント、不動産業メーカー、IT 関連企業企画営業を経験のち、2019 年に独立。ICT 活用支援や、クラウドサービスサポートなどをメインに行いながら、ネイリストとしても活動中。テレワークやペーパーレスに関するアドバイス、SNS の活用、PR、ブランディングなどを得意とする。座右の銘は、Just the way I am.（あるがままの自分で）



理事

岩永 牧人

精神保健福祉士 / キャリアコンサルタント

公益財団法人ちばの WA 地域づくり基金 理事

市川南保育園→宮田小→大洲中→日出学園

長い間、市川に育ててもらい、人とのつながりのおかげで楽しく生活してきました。そして、これまであまり接点がなかったフリースタイルな仲間たちと出会い、共感し、法人設立に参画しました。これからつながる皆様とも一緒に何かいろいろと楽しいことができる！なんてと思うと、も〜ワクワクが止まりません！



理事

岩永 賀子

異職種ミックスの視点が持ち味の「ママスラッシャー」

電子部品メーカーから料理教室運営企業への転職を機に、未経験の仕事に飛び込み続け、営業、料理講師、コールセンター SV、法務、企画、ライターなど経験職種は 17 種にのぼる、究極の「なんでも屋」。組織でのマネジメントにやりがいを感じつつも、長女出産後にライフワークバランスを考えキャリアをリセット。スキルを磨くため、現在はマーケティングのコンサル会社で修行中。



理事

釘抜 克典

丸屋文具店でっち / 幸せビール醸造家

人はビールを飲むと、陽気になり会話も弾むようになります。福沢諭吉も「胸膈を開く為に妙なり」（腹を割って話すのに良い）と書き残しました。

コミュニケーションの活性化を促す。ビールには、そんな力があります。

まるやブルワリーで、人と人が出会い、新しい何かが生まれるかもしれない。

新しい何かをきっかけに、新しい文化が生まれるかもしれない。

そんなビールが作れたらどんなに幸せだろうか。



副代表理事

國友 英治

## 理学療法士 / はりきゅう師 / lchiPedia

市川市内にリハビリの仕事で飛び回る傍ら、ヒト、モノ、コトを取材するコミュニティダイバーとしても活動中。次の取材はこれを読んでいるあなたかもしれません(笑) フリースタイル市川ではオウンドメディアや市川市民の健康資産の向上に寄与する活動をしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

特技 / 誰とでもすぐ仲良くなれる, すべり芸

好きな食べ物 / ラム肉とジビエ、赤ワインにはまっています

苦手なもの / 大人になってなぜか昆虫が怖くなった



理事

小泉 篤史

## 心優しきフリスタのご意見番

薬剤師、中小企業診断士、健康経営エキスパートアドバイザー、シナリオプランナー、NST 専門療法士、ファシリテーション塾認定講師、事業承継コーディネーター、SF：未来志向、自我、活発性、回復志向、戦略性、好きな言葉：飲み放題、趣味：釣り、スパイスカレー、燻製、読書、Purpose：企業に組織にいい風を起こし、成果につなげること、Core Value：謙虚、感謝、利他、得意技：計画・戦略づくり、ワークショップデザイン



理事

澤田 友宏

## "無為自然"をたいせつにするミズベリスト

～水のように姿を変えて生きている～

時に蒸発したり、茶色に濁ったり、氷の如く冷たくなったり… 今はいちかわの渴きを潤したい気持ちでフリースタイルに生きています！



理事

城谷 直孝

## いきるとはたらく 研究家 / あなたの街のカウンセラー

産業カウンセラーとキャリアコンサルタントの資格を持ち、公的機関での生活困窮者支援業務に従事。また個人相談所を本八幡に開設し、様々なカウンセリングを行うと共に自立援助ホームでの支援等も行っている。倉本聰脚本の「北の国から」に陶醉し、北海道をこよなく愛する。オートバイを趣味とし時折ふらっとソロツーリングに出かける。



理事

鈴木 雄高

## ストリート・ムシヤリスト

宝→南大野→富浜、そして鬼高へ。専門は、マーケティング、消費者研究、データ分析、売場改善。映画、文学、漫画、芸術、音楽を愛好し、呼吸をするように歌い、詞を書き、曲を作ります。ノスタルジー鈴木として【イカ市川】放送中。モットーは「まちづくりにマーケティングを」「フリスタをみんなの思いを繋ぐハブに！」



代表理事

野口 淳

## 想いをカタチにする建築家

建物を設計をすることは、その中の空間をデザインをすることでもあり、さらにその空間で起こる出来事や人と人の関係性をデザインすることでもあります。自分が住む街で身の回りの日常を楽しむために真間にコミュニティスペース「アンカー市川」を作り、たくさんのすてきなヒト、すてきなコトに出会いました。これからはみんなのひとつひとつの想いをつないでいながら、カタチになるお手伝いをしていきたいと思います。



社員

本間 美也子

## 行政法規のトランスレーター

本業：行政書士 地域活動：市川市消防団員

好きなもの：走ること／犬<ジャーマンシェパード>／映画<フェデリコ・フェリーニ>／音楽<米津玄師>／本<星新一>／場所<市川、白州、野辺山、Big Bear Lake>思いを持って何かを始めたい人を応援したい／防災・環境問題に取り組む個人、団体とつながりたい／Civic Techに興味あり／迷ったらまずやってみる／変化を楽しむ／チャレンジは何歳からでも遅くない／走りながら考える



監事

松本 浩和

## 音楽と共に生きる

「尺八工房まつもと」主宰、日本の伝統楽器「尺八」を演奏する。世界遺産「百舌鳥古墳群」の近く、大阪育ちだが、市川に住んで十余年。市内の保育園を演奏して回ったのがキッカケで地域や行政との接点を得る。市川子どもわくわくネットワーク代表。成年後見のNPOに所属し、後見実務活動にも従事。音楽は、東西問わず古典音楽から現代音楽、環境音まで、ほぼなんでも好きです。映画館、美術館、コンサートにもよく行きます。



理事

村松 純平



## 森と IT のエンジニア / やるなら今しかねえ

自然環境豊かな”市川のアラスカ”国府台にて、森にまつわる交流イベントや保全活動を行う。平日はITツールLINE WORKSで「会えなくても仕事が進む」を全国へ広げるべく活動中。ニューノーマルな働き方や、森の中で過ごす時間を通して、ここ市川ならではの幸せな暮らしを皆さんと一緒に見つけていきたい。特技 DIY、アウトドア、IT 全般、日英通訳 / 翻訳、燻製、スパイスカレー、顔芸



社員

山口 紀子



## 中国料理 芙蓉亭・若女将

市川市真間の【中国料理 芙蓉亭】3代目に嫁いだ山口紀子こと、ノンちゃんです。昭和35年創業の芙蓉亭には、二世帯、三世帯で通ってくださるご常連も多く、今の時代らしからぬアナログな交流が日々繰り広げられています。それが私も心地いいし、新しいお客様にもどんどん輪に入ってきていただきたい！おいしく食べて笑って、困ったことは助け合って、楽しく生きていきましょう。どうぞよろしくお願いします♡

And here is your place!

## 次のメンバーはあなた ^^

フリースタイル市川と一緒に活動しませんか？気軽に関わるもよし、ガッツリ入るのもよし！フリスタはフラットで多様性を認め合うチームだから、いつでもウエルカムです。ぜひ一緒に、市川を盛り上げていきましょう！

## 【フリスタへの関わり方はいろいろ！】

- メンバーになる
- メンバーと友達になる、仲良くなる
- 活動をスタッフとしてお手伝いする
- ご自分が関わる活動の課題解決や悩み相談をする
- 友達や家族に紹介する
- 陰ながら応援する
- 活動を寄付を通じて支援する

メンバーへお気軽にお声がけいただくか、下記よりお問い合わせください ^^

フリースタイル市川 Web サイト・ お問い合わせフォーム QR コード→

<https://fs-ichikawa.org/>

フリースタイル市川 Facebook ページ

<https://www.facebook.com/freestyleichikawa>



# これまでやってきたこと！

## おいしくやくそく宣言

フリースタイル市川が誕生する大きなきっかけとなった重要なプロジェクト、「おいしくやくそく宣言」を紹介します。



新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、飲食店の多くが店内飲食を休止せざるを得ない状況になり、テイクアウトに注力することで何とか苦境を乗り越えようとしていた2020年4月、地元のお店の力になりたいという声から自然に上がってきました。こうした中、鬼越を拠点に活躍するデザイン・ユニット「MIKAZUKI design」（敬称略、以下同様）と、オープンして1年足らずの間にすっかり定着した、真間の新しい拠点「アンカー市川」が、共同で、緊急事態宣言が出された4月7日に「おいしくやくそく宣言」を立ち上げ、飲食店に貼ることができるポスターをつくりました。

ポスターは、ウイルス感染リスクを抑えるために「飲食店が守っている『やくそく』」と「みんなで守りたい『やくそく』」の2種類で、「また笑顔で会えるように」という思いが込められています。



ポスターはこれらの他にも、「テイクアウトできます」というものがあり、コロナ禍で新たにテイクアウト対応を始めた飲食店が多いことを想定したものです。利用者としても、お店の外に貼られていれば、持ち帰りできるということに気が付きますし、それによって利用してみようと思うことがあるでしょう。お店にとってはお腹をすかせたお客さんがお店の前を通過していってしまうという機会損失を防ぐことにもつながります。

これらのポスターの特徴は、飲食店が利用者に伝えたい大事なメッセージを、デザインの力で伝わりやすくしている点にあります。また、ポスター等を自分で作るのには難しいという飲食店の立場を考えたものでもあります。

「おいしくやくそく宣言」では、ポスターの作成と無料提供だけでなく、同じタイミングで Facebook に「**市川の飲食店テイクアウト情報**」というグループを作りました。城谷氏が発案して 4 時間後にはページが公開されました。グループページの紹介文はこのようなものです。

「市川の飲食店テイクアウト情報」グループページ  
市川市（及びその周辺）の飲食店のテイクアウト情報をリアルタイムで投稿して、みんなと共有するためのページです。  
お店の写真や料理の写真、店員さんの写真なども一緒に投稿してもらうと、臨場感もあり、見ている人もよりイメージがしやすくなります。

※飲食店の皆さんへ  
飲食店の利用者だけでなく、お店側からの情報もお待ちしています。  
「おいしくやくそく宣言」にあるように、このような大変な状況の中で、お店⇄お客の壁を超えて、「また笑顔で会えるように」みんなが同じ想いを共有するための取り組みです。  
その日の何気ないお店の状況をシェアしてもらうことも大歓迎です  
^^

※食物アレルギーに関して知りたい場合は、予約時など電話で飲食店にご確認ください。

このグループページを通じて地域のつながりがより強くなればと思っています。

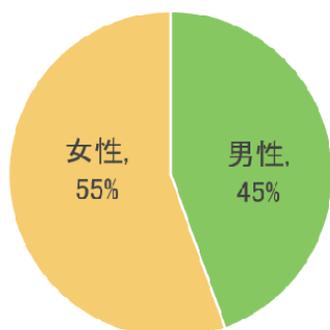
また、「おいしくやくそく宣言」のポスターを下記のページからダウンロードできますので、印刷してお店のわかりやすい場所に掲示していただければと思います。



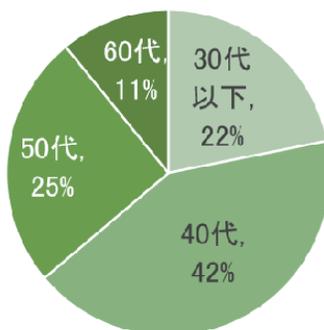
4 月 7 日に開設されたグループには多くの方にご参加いただき、メンバー数は 4 月 30 日の時点で 1,300 人を超え、10 月 16 日現在 2,200 人超となっています。

このグループ開設後、1 か月程度が経過した 5 月 26 日から 6 月 1 日にかけて、参加しているメンバーの皆さんのうち 119 名の方に、アンケートにお答えいただきました。回答結果を紹介します。

回答者の内訳（性別）



回答者の内訳（年代）



Q1 このグループの投稿を見て、はじめて  
テイクアウトで利用したお店がありましたか

	人数 (人)	はい	いいえ
- 全体	119	82%	18%
1 男性	53	79%	21%
2 女性	66	83%	17%
3 30代以下	26	81%	19%
4 40代	50	82%	18%
5 50代	30	83%	17%
6 60代	13	77%	23%

Q2 利用したことはあったが、グループの投稿を見て  
テイクアウトをはじめて利用したお店はありますか

	人数 (人)	はい	いいえ
- 全体	119	75%	25%
1 男性	53	75%	25%
2 女性	66	74%	26%
3 30代以下	26	73%	27%
4 40代	50	74%	26%
5 50代	30	73%	27%
6 60代	13	85%	15%

Q3 投稿を見てテイクアウトをしたことを  
自分でも投稿しましたか

	人数 (人)	はい	いいえ
- 全体	119	54%	46%
1 男性	53	55%	45%
2 女性	66	53%	47%
3 30代以下	26	46%	54%
4 40代	50	62%	38%
5 50代	30	53%	47%
6 60代	13	38%	62%

Q4 テイクアウト利用の頻度はどのくらいでしたか

	人数 (人)	週に3回以上	週に2回程 度	週に1回以下
- 全体	119	13%	29%	57%
1 男性	53	17%	26%	57%
2 女性	66	11%	32%	58%
3 30代以下	26	15%	31%	54%
4 40代	50	20%	30%	50%
5 50代	30	7%	30%	63%
6 60代	13	0%	23%	77%

Q5 ウーバーイーツなどの  
配達サービスを利用したことがありますか

	人数 (人)	はい	いいえ
- 全体	119	18%	82%
1 男性	53	13%	87%
2 女性	66	23%	77%
3 30代以下	26	38%	62%
4 40代	50	20%	80%
5 50代	30	3%	97%
6 60代	13	8%	92%

Q6 コロナ収束後も  
テイクアウトを利用したいですか

	人数 (人)	お店が続ける 場合は利用し たい	利用したいの でお店に続け てほしい	利用しない
- 全体	119	65%	33%	3%
1 男性	53	75%	21%	4%
2 女性	66	56%	42%	2%
3 30代以下	26	62%	38%	0%
4 40代	50	54%	40%	6%
5 50代	30	77%	23%	0%
6 60代	13	85%	15%	0%

このグループがきっかけとなって、初めて利用したお店があるという方が約8割強（Q1）、これまでに利用したことはあったものの、テイクアウトを利用したのは初めてというお店があるという方が8割弱（Q2）もいます。アンケートに協力しようと思ってくださる方は、このグループの好影響を感じておられる方が多いと思われるので、アンケート結果がグループ参加者全体の傾向を示しているとは言い切れません。とは言え、多くの方が、当グループがきっかけとなって行動をしているのは確かだと思います。お店の立場からみれば、このグループの存在が、新たな利用を促したということになりますので、「おいしくやくそく宣言」を立ち上げた時の、お店の力になりたいという想いが形となってお店に届いたのかな、と、参画している者の一人としてもうれしく思います。

続いて、アンケートの自由回答より、お店の利用者、そしてお店の方のコメントをいくつか紹介しましょう。

## Facebookグループ利用者からのコメント

おかげ様で。自分が住んでいる市川市に愛着が深まりました。そして、その地元で営んでいるお店を応援したくなりました。今後、東京に行くよりも、地元のお店をもっと開拓したくなりました。素敵な企画だったと心から思います。

★

社会貢献している感じがとても楽しかった。普段だと子ども連れ可能か、子ども椅子はありそうかなど調べなきゃいけないお店の食べ物を気軽に家に持ち帰れたのがよかった。

★

様々なテイクアウト情報に助けられました。このグループを立ち上げて下さり、ありがとうございました。地元の店を地元民が支えるこのような仕組みが続くと良いですし、市川の美味しい！が地元民に広がる素敵なきっかけでした。

★

このグループに参加したことで、市川市内における生活圏内外の素敵なお店をたくさん知ることができ本当に有益でした。また、お店の方の直接の投稿やコメントでのやりとりを拝見することにより、お店の方が様々な工夫・アイデアを凝らして下さっていること、地域の方に強く愛されていることなど、食べログなどのサイトからでは知ることのなかった事柄もこのグループだからこそ知ることができ、改めて市川市の魅力を感じることができました。

★

素早いタイミングで自粛の中でも出来ること、つながっても良いこと、発信したり、受け取ったり出来ること、むしろ、この状況が新しい出会いにつながる！不思議で感動の経験を得ることができました。メンバーの皆様のアイデアと発信力に感謝と敬意の気持ちでいっぱいです。これから先、様々な思いもよらぬ事が起こるかもしれませんが、、

その時も仲間に入れてください^\_^ そして、これからも何か期待して待ってます(◡>◡<◡)。

★

今まで知らなかった地元のお店を知れて良かったです！通常再開後、夜にも行ってみたいお店がたくさんで、今から楽しみにしています。

★

気になっていたお店に足を運ぶきっかけになった。背中を押してもらった感じで感謝しています。沢山の店のことも知ることができて、市川って広いなあ～素敵なお店が沢山あるなあ～と思いました。読んでいただけでお腹いっぱい?!(笑)楽しかったです。

★

地元の情報交換ツールとして、とても良い取り組みだと思いました。残念ながら緊急事態宣言解除後の5月の末になってやっと見つけたもので、もっと早く知りたかったと後悔。コロナ収束後も「来て欲しいお店」と「行きたいお客さん」を繋ぐものとして、何かしらのカタチで残せるといいですね！

★

近所の飲食店でも知らなかったお店を、こちらの投稿を見て出会えたり、また、これから利用したい候補のお店も増え、とてもありがたい企画です。今後は、テイクアウトに限らず地元の皆さんと情報共有が続けられるといいなあ～と思います。投稿者の方々も、会ったことなくとも知り合いのような気がして、日々の投稿が楽しみです。

★

普段 Facebook で連絡をしている人たちとはまた違う、でも同じ市川在住の方々を利用したテイクアウト情報やお気に入りのお店を知ることができて良かったです。今後利用したい市内のお店の脳内リストはもうパンパンです。笑

## Facebook グループに参加しているお店の方のコメント

グループを見て来店していただくお客様たくさんいらっしゃいました！利用した方がアップしてくれたのも、嬉しかったです。いいタイミングでグループに参加出来て良かったです！

★

感謝しています！このグループを作ってください本当にありがとうございます(///▽///)こちらのグループのおかげでテイクアウト利用をしてくださる方へアピールすることができました♡

★

本当に皆さんにご利用頂き、支えて頂きました。まだまだ、完全終息とはいかず、苦しい状況は続くかと思いますが、皆さんに支えられたご縁を励みにこれからも頑張ります。変わらぬご支援の程、宜しく願いいたします。



他の飲食店さんも頑張っている、また、たくさんのユーザーがテイクアウトを楽しんでいるということがリアルにわかるのでとても励みになっています。すごく交流が広がりました！ありがとうございます！



このような素敵なコメントが多数寄せられて、関わったメンバーズが大いに喜んだことは、あえて言うまでもないでしょう。しかもめっ面の私（鈴木）ですら、年に数回しか浮かべないと言われるスマイルを浮かべたほどです。

なお、誰かとお店で食事をするのが極めて難しかった4月の下旬に、Facebookグループを通じて、Zoomを使ったオンライン宴を開催しました。**市川市内のお店でテイクアウトした飲食物を参加者同士で見せ合って簡単にプレゼンするという交流企画**、題して、「**オンライン de モチョラナイト**」というこの企画、大いに盛り上がりました。



後にフリースタイル市川として活動していくことになるメンバーズの多くが、「おいしくやくそく宣言」のスタートに向けて、ネーミングを検討したり、オフライン（店舗）でのポスター掲出に加えオンライン（SNS）で利用者とお店の交流の場を提案するなど、このプロジェクトに深く関与しました。先ほどご紹介したアンケートの実施やグループへの結果のフィードバックもそのひとつです。

この経験を通じて、自分たちが動くことで、お店の方々の想い、利用者の皆さんの想い、**ひとつひとつの想いがつながっていくこと**や、オンラインとオフラインで、利用者同士、お店同士、お店と利用者など、普段はつながることのない人たちが交流して、私たちのまち＝**市川に流れがつくられていくこと**を身をもって感じました。屹立した才能の持ち主や、研ぎ澄まされたセンスを誇る勇士が、たった一人で社会を変えることもあるでしょう。しかし、抜きんでた一人の力に頼らずとも、**多彩なメンバーがモチョル（持ち寄る）アイデアに、強い思いという熱を注ぐこと**で、信じられないスピードでマジカルなことが起こせると思います。「おいしくやくそく宣言」はフリースタイル市川前史であり、フリスタのゼロ地点といえる、画期的なプロジェクトだった、きっと、後世になって誰かがそう書き残すでしょう。あ、誰かが書き残す前に、私が書き残してしまいました。



文責および分析：鈴木雄高

## いま取り組んでいること！



ふくろうの森  
マルシェ

### ふくろうの森

＜主担当者：村松 プロジェクト属性：事業協力＞

ふくろうの森では、マルシェという部分をアンカーへ切り出し、まだ水面下ですが「森に帰ろう」というようなメッセージで、五感を使った野外イベントとか保全活動、自然共生を意識した発信などを企画しています。



### ふくろうの森 shop とミシンパーティ

＜主担当者：村松 プロジェクト属性：事業協力＞

地元手作り作家による雑貨店、リラクゼーション・マッサージ、月に一度のマルシェイベント、ミシンのレンタルや裁縫のワークショップを平日水/木/金にアンカー市川1階にて運営。

主婦の皆さんが本業や家庭を両立しながらバランス良くリソース配分し、持続可能な形での地産地消ビジネスを展開しています

。

### Mizbering Edogawa さとみ

＜主担当者：澤田 プロジェクト属性：事業協力＞

2019.3.1 よりスタート。江戸川里見公園界限 (mizbe) で繋がる輪 (ring) を拡げていきます。" 憩いの場所 " " 安らぎの時間 " を市川に、水辺をもっと楽しく素敵な空間にしていきます！



### IchiPedia

＜主担当者：國友 プロジェクト属性：事業協力＞

2019.8 月からオープンした YouTube チャンネル。市川市内のニッチなヒト、モノ、コトを独自の視点で取材し動画にしています。新しい発見がそこにはある！



gate.<主担当者：稲村 プロジェクト属性：事業協力>

市川市の妙典 / 行徳エリアにコミュニティスペースを作ります!

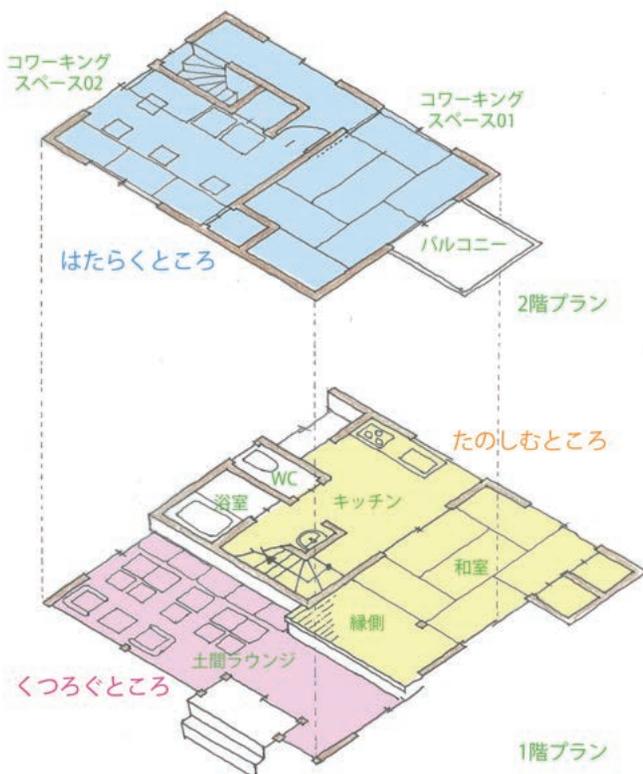


" gate (ゲート)" とは" 門・出入口・搭乗口"などを意味する英語です。

訪れる人が、まず新しい自分とつながり、人との交流で近所とつながり、そして市川全体とつながっていく、『ゲート』ような場所になってほしいという想いを込めて『gate.』と名付けました。

キャッチフレーズは、『つながる私が、はじまる場所』

" つながる私" とは、「gate.に訪れるすべての人」のことを示し、" はじまる場所" とは、「はじまりの場所」である gate. のことに加え、「はじまる瞬間」という意味も込めています。



gate. はこんな場所です。

- ①たのしむところ (シェアスペース)
- ②くつろぐところ (ドリンクスタンド)
- ③はたらくところ (コワーキングスペース)

2020年12月20日頃オープン予定!!

gate. を作るためにクラウドファンディングを開始しました! 応援よろしくお願いいたします!!

詳細ページはこちらです→

<https://readyfor.jp/projects/gate>



## !ka !ch!kawa (イカ市川)

<主担当者：ノスタルジー鈴木（鈴木雄高） 稲村ジェーン（稲村絵美里）

プロジェクト属性：事業主体>

ノスタルジー鈴木と稲村ジェーンがお届けするレイディオ／ポッドキャスト番組です。市川市のイカした人・場所・出来事を紹介したり、市民目線で何気ない日常を語ったり、データをもとに鋭く分析してみたり、フリースタイル市川の活動報告をしたり、まちづくりについて語ったり、時にはゲストを迎えたり。ジェーンがリッスンした音楽、ウォッチした映画のことや、ノスタルジーが注目している漫画のことをトークすることも。これを番組で取り上げてホシーノ!というリクエストもお待ちしています。各回は10～15分程度と聴きやすさ抜群のイカ市川、是非、スマホ、パソコン、タブレットでリッスンしてホシーノ!

### 【これまでにこんな放送をしてきました。】

『あっという間の1年だったね』

稲村ジェーンがフリスタのメンバーとの出会いから、フリスタの立ち上げ、そしてNPO法人化までの激動の1年間を振り返り、未来を見据えて語ります。



『ハンドサイン【F】をキメろ』

フリスタのハンドサインのつくりかたを解説しています。ヴィジュアルで説明すればすぐに済むことを、敢えて音声コンテンツでトライしました。

『新・市川市役所に潜入してみた!』

市川市の新第一庁舎に接近し、入り、ある手続きを済ませて、舎を出るまでの、稲村ジェーンの一連の行動を、本人がリアルタイム解説しています(収録ですが)。

『市川市の人たち』

市川市の人口や世帯類型、外国籍の方の数、人口の社会増減、昼間人口などを紹介しています。まちのプロフィールともいえる、こうした基本情報を確認しながら、まちづくりについて考えています。

『ハタシネマと鬼越名物シリーズ』

惜しまれつつ閉館した本八幡駅前にあったハタシネマが、2020年現在も営業しつづけているという珍説を唱えるノスタルジー鈴木。後半ではMIKAZUKI.DesignさんのInstagram「イチカワニヒトツマミ」から鬼越名物シリーズを紹介しています。

『フリースタイル市川の多彩な活動』

フリースタイル市川では数々のプロジェクトを同時に進行しています。今日はその一端をご紹介します。

『Mizbering Edogawa さとみ』、『IchiPedia』、『肉のこばやし』、『ふくろうの森 shop とミシンパーティ』、『菜 TOMO』、『モチャラナイト』、『音楽をモチャラナイト』、『市川リミックス』、そして企業との連携も水面下で進んでいるとか!?

## 肉のこばやしプロジェクト

<主担当者：野口 プロジェクト属性：事業主体>

県道1号線（市川松戸線）に「国府台共栄会」という商店会があります。

かつては生活に必要な物はすべて揃う地域の住人の生活を支えた商店街でしたが、今では営業している店舗は数えるほどしかなく、シャッターの閉まってしまったり、駐車場、アパートに変わってしまいかつての賑わいはありません。

その中にある「肉のこばやし」も同じように世代交代の問題からシャッターが下りてしまった老舗のお肉屋さんです。その肉のこばやしの建物をリノベーションして新たにアーティスト向けのシェアハウスを作ります。

建物は築50年以上の木造2階建てです。時間を重ねてきて、そこにしかない空気感を纏った建物の価値を物語として抽出していきます。一階の旧店舗部分はギャラリースペースを設けるなど、かつてそうだったような街に対して開かれた空間として計画して、街とつながる場所にします。

アトリエ併設のアーティスト向けシェアハウスとして蘇る肉のこばやしは、今でなければ、ここでなければ生まれえないような新たな価値を提示してこのエリアに流れを作っていきます。



# これからやりたいこと！

## まるやブルワリー（市川ビール）

<主担当者：釘抜 プロジェクト属性：事業協力>

### ■背景

真間小学校の正門前で80年以上にわたり子供たちに文具を届け続けた「丸屋文具店」は地域の子供たちにとって「いつでも立ち寄れる場所」です。

4世代に渡る子供たちの成長を見守ってきた丸屋文具店の3代目釘抜克典が地域の歴史を継承するプロジェクトとして〔まるやブルワリープロジェクト〕を始動します。

地域の子供たちにとって「いつでも立ち寄れる場所」であった文具店のように、だれでも世代を超えて、時間を超えて楽しむことができる「ビール」作りに地域の未来を託します。

### ■目的

『市川ビール』は市川市初の地ビールとして市川市や真間などの地域の活性化に貢献します。

- ・工場の大量生産ではなく、そこでしか生まれない味のビールを生産して地域で流通・消費することで地域の経済を活性化させます。
- ・良質な品質のビールを生産して市外からの消費も見込め、地域経済の活性を図ります。
- ・市川市の名産品である梨や、市の花であるバラを使ったビールの商品化。
- ・市川市の名所を冠したビールの商品化→「つぎはし」「手児奈」「やぶしらず」
- ・ゆくゆくは市川市のふるさと納税の返礼品として

### ■スケジュール

2020年10月 NPO法人フリースタイル市川の設立記念ビールを醸造

2021年1月 会社設立。ブルワリー設立後、醸造免許取得

2021年2月末 TMO13期の終了発表

2021年3月以降 アンカーやgate.にて毎月1回ビールの試飲会を開催

2022年X月 まるやブルワリー開業

### ■まるやブルワリーの場所

真間地区で由緒ある場所 案：つぎはし（真間4丁目）

# 源流

<主担当者：城谷 プロジェクト属性：事業主体>

げんーりゅう【源流】とは

- 1 ある川のもととなる水の流れ。水源。
- 2 物事の起こり。始まり。起源。



小学生の頃、テレビで活躍するホームラン王に憧れ、

親にお願いして買ってもらった「王貞治物語」を読みました。

中華料理店を営む両親に育てられた彼が、小学校から高校、そしてプロになるまでの出来事や努力、そしてその時その時の想いが描かれていて、読み終えた後は一層彼のことが好きになりました。

テレビの中のホームラン王はいつも華やかで自分とは全く違う世界に住む人でしたが幼少時に国籍の違いによる苦労をしたことや、プロになってからピッチャーとして全く活躍できず、悩んだ末にバッテリーに転向したことなど彼の半生を知ることによって共感を持つことができたのかもしれない。

われわれフリースタイルのミッションは、「ひとつひとつの想いをつないで市川に流れをつくる」です。この源流というコンテンツは市内で活動をする方にインタビューをして、その方の活動の原点となるような「生き方」や「価値観」にスポットを当てたコラムを作成することにより、【人に共感することで想いを繋げる】ことを実現したいと思っています。

フリスタの各メンバーが、話を深く聞いてみたい方！にアタックしてインタビューし、ライターとしてコラムを作成するというスタイルをとって行きます。つたない文章になるかもしれませんが、「想い×想い」という内容になることは間違いありません。

多くの方に登場してもらおうと思っています。今後の展開をご期待ください。

—小さなひと滴が、大きな流れになることを祈って—

城谷 直孝

## いちかわ会議（仮）

<主担当者：野口 プロジェクト属性：事業主体>

### 「すべてはつながりからうまれる」

フリースタイル市川が定期的を開催する "人と生業を通じて市川を知る、好きになる、つながる" がコンセプトの交流イベントです。市川の人物とその人の生業を知り、共感をシェアすることで街を知り、興味を持ち、つながっていくための仕掛け作りです。

- ・ 毎月1回開催
- ・ 毎回2～3人の登壇者
- ・ 参加者（毎回30人～50人）

市川市内の会場で毎回2～3人のゲストスピーカーを招き、自分自身について、生業についてお話をしていただき、市川で暮らすことへの想いをお聞きます。

よくあるビジネス交流会とは違い、仕事の利害関係でつながるのではなく、その人物の生い立ちや人間としての生き方に共感してもらい市川に対する想いをによってつながりを作っていくイベントです。

このイベントでは毎回30～50人の参加者を想定していますが、そこでは次のような交流が生まれます。

- ・ 登壇者どうしの交流
- ・ 参加者どうしの交流
- ・ 登壇者と参加者の交流

ここで生まれた「つながり」によって参加者は自分の住む地域を知り、愛着を持ちます。

また、新しい「つながり」が市川に新しい流れを作っていくことでしょう。

今日のキックオフミーティングの第2部は「いちかわ会議（仮）」のプレオープンとも言えます。

## 音楽をモチヨラナイト

<主担当者：鈴木 プロジェクト属性：事業協力>

食べ物をモチヨッテ（持ち寄って）、なぜそれを選んだのか、その物語と味をシェアすることで仲間の輪が広がる『モチヨラナイト』から着想を得たのが、この、『音楽をモチヨラナイト』。各回のDJ（自分瀬全て選曲するクラブDJではなく、皆のリクエストを募るレィディオDJのような役割）が定めたお題に合った曲を、参加者がモチヨッテ、あるいはリクエストして、その曲を選んだ理由と、曲と市川市の関係を（無理矢理でも良いので）語ってもらって、みんなで音楽をエンジョイする、趣味縁をつなぐ企画です。

## 市川リミックス

<主担当者：鈴木 プロジェクト属性：事業協力>

市川市は意外と広く、大町の「ありのみコース」や「動植物園」、「大慶園」に行ったことがない行徳の人がいたり、「中山法華経寺」には何度も行ったことがあるのに真間の「弘法寺」には未踏で、「大門通り」を歩いたことがないという人がいたりするわけです。大町の人と行徳の人、中山の人と真間の人が混ざり合う、元々市内にいる人たちが混ざり合って新しい何かがポワッと出るのではないかという楽しい企画です。

## 菜 TOMO

<主担当者：光井氏・村松 プロジェクト属性：事業協力>



菜 TOMO 12月モデル化実験 友だちになって! LINEで菜TOMOに参加

ご近所農家の採れたて新鮮野菜をお届け

★毎月、LINEで採れたて新鮮野菜をお届け  
●LINEで受取所を指定し  
●野菜を注文すると  
●毎月、野菜が受取所に届き  
●受取所に行って野菜をもらい  
●代金を支払う

アンカー市川 又は 市川子ども文化ステーション 北地区事務所  
市川市真間2丁目16-12 市川市東管野5-8-21-201  
電話:047-321-6670 電話:047-339-7744

運営 いちかわ野菜地産地消研究会 沼津市沼津 携帯電話:090-5458-6471 Email:jam@pc4net.ne.jp 市川市国府台1-3-1 千葉商科大学リハビリテーション研究部

いちかわ野菜地産地消研究会 光井浄司氏によるプロジェクト。

ご近所農家の採れたて新鮮野菜を LINE で注文して、指定の場所で受け取れる！

地元農家と、家庭と、近所のコミュニティースペースをワンストップで結び、受発注、デリバリー、決済を一元処理。11月より開始予定の事業モデル化実験やシステム開発をフリースタイル市川にて全面バックアップしています。

### ▼その他のプロジェクト

他にも色々なアイデアが出てきています。既に実施中のものだけでなく、これから計画を立てるものもあります。興味のある方は是非ご参加ください！

## フリスタのハンドサインはこれ！

「ハンドサイン」なるものを御存知でしょうか？ハンドサインとは、手指で何かの形を表現したものです。フリースタイル市川にもハンドサインがあるのですが、そのことを知っている人は、まだ少ないようです。そこで、フリースタイル市川のハンドサイン【F】の作り方をお伝えします！

1. 右手で顔の前にピースサインを作ります（手のひらがあちら側、手の甲が自分の顔の側に来るように）。

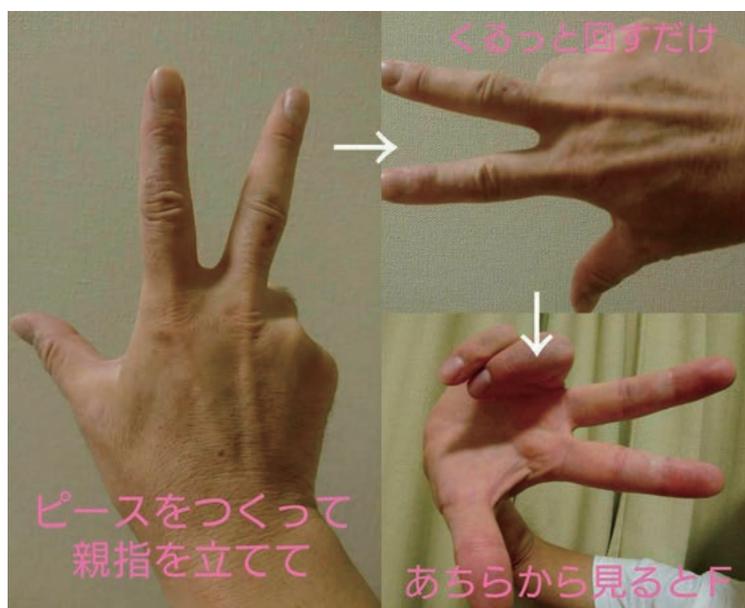


2. 親指を広げて立てるようにします。顔の前で右手の親指が左を指し、人差し指と中指が天を指しているはずですよ。



3. 変形のピースサインをそのまま左にぐるっと90度回転させます。

以上です。これで、ハンドサイン完成です。あちら側からは、指でフリースタイル市川の【F】の字を作っているように見えます！できましたか？え？説明が長くてくどくてよくわかりませんか？すみません、私の説明は大抵こんな感じでの的外しがちなのです ...  
わかりづらい！とお嘆きの方のために、今日はヴィジュアルでご説明差し上げたいと思います。ぜひ画像をご覧ください。



ミーティングの終盤には皆さんと一緒にハンドサインを作って、素敵な写真を撮影したいと考えていますので、ハンドサインをサッと右手で作れるように練習していただければ幸いです。（鈴木雄高）